

当自治会の防災と役割分担について

自治会における防災

当自治会で備えるべき主な災害は地震と火災です。大きな災害が発生したとき、消防や救急（公助）は他の災害現場への対応で手いっぱいとなりすぐに駆けつけてきてはくれません。そこで「自分の命と生活は自分で守ること（自助）」が基本となります。その上で、火災や家屋倒壊、ケガなどで動けなくなった人、子どもや体の不自由な方に対して「ご近所同士で助け合うこと（共助）」が大切です。

自治会では、会員の皆様ひとりひとりが、地震発生時の行動、安否確認の方法、初期消火の方法、負傷者の救出救護の方法、そして避難の仕方と避難生活への備えについて、日頃から知識と準備を整えておくこと、実際に災害が発生したときにご近所同士の助け合いにより少しでも多くの命が助かるようにすることを目的として、防災情報の提供、災害時に必要な資機材の整備を進めています。

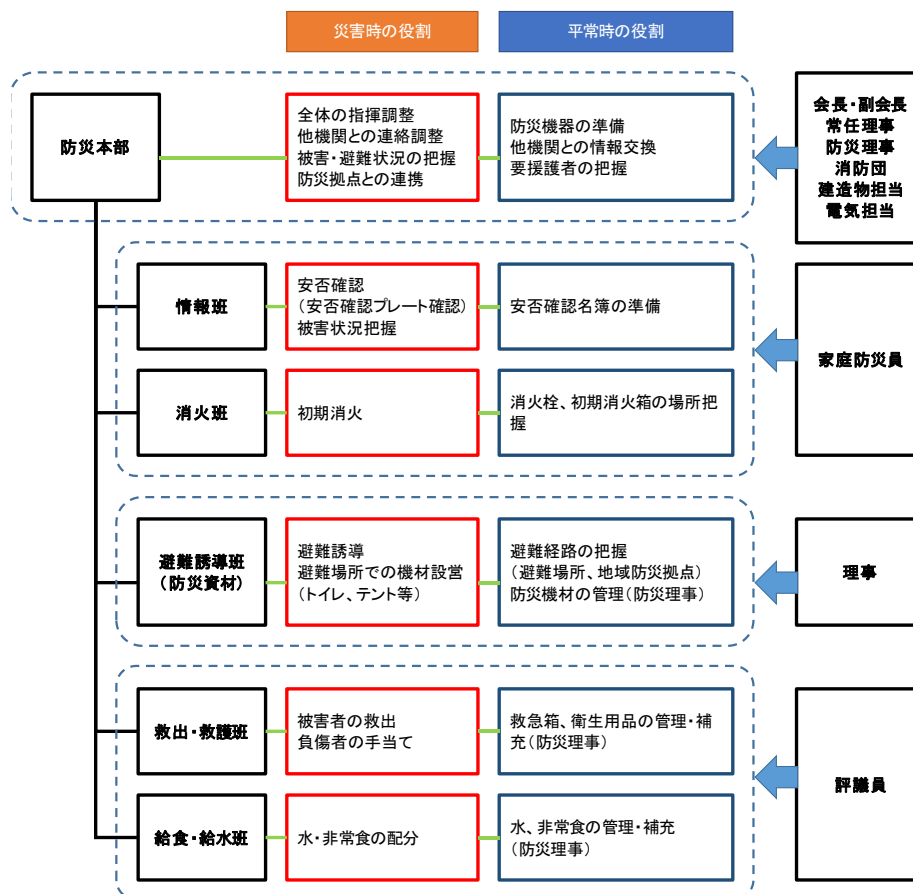
理事、評議員、家庭防災員の皆様には、当自治会の一員として、近隣の皆さんへの防災意識の啓発と、災害発生時の避難・救助活動の中心的な役割を果たしていただけるようお願い致します。

防災組織と役割分担

災害時には、地域で協力して助け合うことが大切です。そのためには住民の皆さんで役割を分担して救護や初期消火、情報収集にあたる必要があります。自治会では下図のような防災組織を想定しています。

防災訓練などの際には、役員の方にそれぞれの役割分担をお願いすることになりますが、実際の災害の際にはこの組織図にかかわらず、状況に応じて集まった人たちで、各責任者を選定し、各役割を分担してください。

また、理事・評議員・家庭防災員の方は日常から近隣の要援護者の把握につとめる様お願いします。



避難場所について

当地区では以下の避難場所、および避難所があります。理事・評議員・家庭防災員の方はこれらの避難場所、および避難所の場所と避難経路を確認し、災害時に住民の方を避難誘導できるようにお願いします。

種別	目的	場所
いっとき避難場所	身の安全確保や、周囲の状況確認、安否確認状況の連絡をするために一時的に集まる場所です。	第一公園 (自治会館)
広域避難場所	大規模な火災の炎や熱、煙から逃れるために一時的に退避する場所です。	川和高校
避難所(地域防災拠点)	自宅が火災や倒壊で住めなくなった場合に一定期間避難生活をする場所です。	川和小学校

！！避難所の収容人数は非常に限られていて現実的には避難は困難です。できる限り在宅避難と、自宅以外に知人・親戚宅など各自で避難できる場所の確保をお願いします！！

安否確認について

災害時に、自身や家族の安全が確認されたら、近隣の安否確認をお願いします。

当自治会では「**安否確認プレート**」を使っています。無事な人がプレートを掲示することで、支援の必要なご家庭を素早く特定できます。災害時、ご近所を見回して、安否確認プレートの掲示が無いご家庭への、声掛け、可能な限りの救助をお願いします。

また、家庭防災員の方は、必ずご自身の班の安否確認プレートの掲示状況を確認し、安否確認名簿に記入の上、自治会館に設置される災害対策本部への提出をお願いします。

理事・評議員・家庭防災員の方は、日頃から近隣の要援護者の把握につとめ、安否確認や避難時の支援をお願いします。



自治会の防災機材・備蓄品について

分類	項目	品名	保管場所
備蓄品	保存水	ペットボトル飲料水(500ml)	会館内防災備蓄倉庫
	非常食	カロリーメイト	
防災機材	電源	カセットガス発電機、スマホ用充電器	会館前防災倉庫
	照明	LED 投光器、LED ランタン	
	暖房	カセットガスストーブ	
	燃料	プロパンガス、コンロ	
	トイレ	マンホールトイレ、簡易トイレ	
	給水	雨水タンク(会館外)、浄水器	
	救護用機材	ジャッキ、バール、のこぎり	第一公園内防災器具収納庫
		椅子状ストレッチャ	

(会館利用時のため、マスク・消毒液・体温計も用意しています。)

※防災理事さんは備蓄品の管理として、数量・消費期限の点検と補充の必要性の確認をお願いします。

！！備蓄品の水や食料は、各世帯あたり飲料水1本、非常食1食程度といった微々たるもので、全世帯、全ご家族の数日間の避難生活を支えるものではありません。是非とも各ご家庭において、最低3日分、できれば5日～7日分の水と食料、非常用トイレの備蓄をお願いいたします！！

その他、防災情報について

自治会のホームページに、防災関連の情報が掲載されています。

ぜひご確認をお願いします。

都筑ヶ丘住宅自治会

検索

